

読書でビジネス力をアップする(第65回)

「だます人を作らない技術」を智能犯担当刑事に学ぶ

2020.10.01



元智能犯担当刑事が教えるウソや隠し事を暴く全技術
森透匡 著
日本実業出版社

ウソや隠し事の暴き方です。相手の本心や真実を見抜く技を元刑事が教えてくれます。刑事が実際に使っているテクニックをビジネスの現場でも活用できるように解説してくれます。著者は、元警部で、詐欺・横領・贈収賄事件などを扱う智能・経済犯担当の刑事を約20年経験してきたということです。今は独立し、そのスキルと知識を生かして講演・企業研修を行っています。

相手の隠し事を見破って真実を聞き出す技術を、刑事の世界では「落とし方」と呼ぶそうです。本書はそれをビジネスで生かすことを指南しています。残念ながら、ウソや隠し事に対応せざるを得ない機会は少なくありません。職場の部下や同僚、取引先はもちろん、家族に対してさえ、対応せざるを得ないことがあります。

本書には、その有効な方法が書いてあります。相手に反省させて真実を語らせる方法ですから、ウソに限らず、不満やホネを引き出したり、指導したりする際にも有効です。

内容は、極めて実践的です。ウソや隠し事を暴く方法にとどまらず、そのために不可欠な信頼関係の築き方、証拠の収集や活用法に至るまでを解説しています。ビジネスへの活用法では、ケースをいくつも例示して解説します。

著者いわく「刑事はコミュニケーションの専門家」ということです。確かに本書のテクニックも、段階的な自己開示、返報性の活用、身だしなみに注意など、ビジネスでもおなじみの手法ばかりです。企業の経営者や幹部社員、リーダーやマネジャー、人事担当者はもちろん、学校の先生や子どものいる親世代など、広く人に接する立場の人におすすめします。

ウソを見破るスキルはだます人を作らない技術ともいえる… 続きを読む